

令和6年度鹿児島県がん診療連携協議会議事要旨

1. 日時：令和6年11月18日（月） 16:00～17:10

2. 会議形式：オンライン（Zoom）会議

3. 開会挨拶

石塚センター長より、開会に先立ち挨拶があり、続いて、鹿児島県保健福祉部健康増進課の大小田課長より挨拶があった。

4. 議題等：

1) 令和6年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

(1) がん診療連携拠点病院等の整備指針見直しスケジュールについて

鈴木副センター長より、【資料1】により、がん診療連携拠点病院等の整備指針改定に関する過去5回の改定があり、今後、がん対策推進基本計画見直しと整備指針見直しのサイクルを連動させ施策的に一体性を持ったがん医療体制を整えていくことの報告があった。

(2) 部会からの報告

① 国分診療情報管理士より、【資料2-1】により、がん登録部会からの報告があった。

② 野島看護師より、【資料2-2】により、情報提供・相談支援部会からの報告があった。

③ 永田看護師長より、【資料2-3】により、緩和ケア部会からの報告があった。

(3) AYA 世代妊孕性温存事業

鈴木副センター長より、【資料3】により、「都道府県レベルにおけるネットワーク構築」について岐阜大学医学部附属病院の古井先生から事例発表の内容について報告があった。

(4) 臨床研究の実績状況と研究結果活用の促進

鈴木副センター長より、【資料4】により、「臨床研究実施状況に係わる情報の活用促進」と「研究結果に係わる情報の活用促進」について報告があった。

2) 各部門からの報告

① 野島看護師より、【資料6-1】により、がん相談・連携部門の活動報告があった。来年度に九州沖縄ブロックにおいて「地域相談支援フォーラム in 鹿児島」を開催する予定で、県内6施設14名で今年度より実行委員会を立ち上げて協議しているとの報告があった。

② 永田看護師長より、【資料6-2】により、がん緩和医療部門の活動報告があった。

③ 国分診療情報管理士より、【資料6-3】により、がん登録部門の活動報告があった。

④ 鈴木副センター長より、【資料6-4】により、化学療法部門・ゲノム医療部門の活動報告があった。また、今年度、新築のA棟へ移転して、外来化学療法室のベッド数が11から21へ増設になったことについて報告があった。

3) その他

① 令和5年度がん診療連携クリティカルパス発行状況表【資料7】の報告があった。特に件数の多い鹿児島医療センターの松崎先生より、耳鼻科が連携パスを使って連携するようしており、全ての件数が耳鼻科であるとの発言があった。

5. その他（意見・質問等）

(1) がん教育の外部講師研修会について

NPO 法人がんサポート鹿児島の三好理事長より、がん教育の外部講師研修会への医療関係者の参加者が少ないので参加協力の依頼があった。

(2) 災害時等への対応について

県庁健康増進課の古賀主査より、自然災害等が発生した場合でも事業を中断することがないように体

制を整備していくことが急務であり、各がん診療連携拠点病院等における BCP の取組状況について、情報共有したいとの発言があった。

本院腫瘍センター事務において事前に、県内の 27 施設に対して、BCP の作成状況等のアンケートを実施したことの集計結果報告があった。BCP を作成している施設が 24 施設、未作成が 3 施設であったこと。ほとんどの施設で見直しを実施しており、中には BCP に基づき大規模災害訓練を実施している施設が 6 施設あったこと。そのほか、防災訓練を実施している施設が 21 施設、未実施が 6 施設であったこと。実施内容については、患者受け入り訓練まで実施している施設が 16 施設であったことの報告があった。

6. 閉会挨拶

鈴木副センター長より閉会の挨拶があった。